

色とりどりの紫陽花が優しく揺れる季節になりました。今年は梅雨入りが遅く、沖縄地方が梅雨明けした2日後の6月22日に、ようやく中国地方の梅雨入りが発表されました。気象庁によると、梅雨入りの定義は決めておらず、平年の梅雨入り前後に、晴れが続いたあと、週間天気予報で雨や曇りの日が続くと予想されるときに「梅雨入りしたとみられる」と発表するそうです。また、「梅雨明け」は、曇りや雨の日が多い梅雨の天候から、晴れて暑い夏の天候へと季節が移り変わる期間が平均で5日間程度あると言われており、その中間の日を「梅雨明け」と推定して発表しているそうです。今年の夏は、ラニーニャ現象が発生するため、猛暑になると予想されているので、本格的な夏までに、熱中症対策を考えておきましょう。

クリーン作戦

6月1日(土)、3年生は曾原の郷内川沿いのゴミ拾いをしました。

この清掃活動は、かつての郷内中学校の生徒会が、「中学生として何か地域の役に立つことはできないだろうか?」と考え、話し合った結果、「毎年、地域の清掃活動をしよう!」という結論に達し、何十年間も続いている地域と学校の行事だそうです。そもそも、中学校の生徒会の発案であり、その中学生が地域の大人になっても地域の一員として活動に参加するという点を考えると、意義深いですね。地域を愛しているからこそできる活動だと思います。



校内人権週間

6月4日(火)~7日(金)までの校内人権週間では、校長先生の人権講話、文化

委員による人権作文の朗読、人権に関する道徳の授業などを行いました。また、6月5日のPTA人権教育講演会では、アーチェリーのパラリンピック日本代表選手でいらっしゃる 大江 佑弥さんに、「夢を持ち続ける そしてあきらめない」という演題で講演をしていただきました。講演の中で、たくさんのお話を聞いていただき、どの言葉にも説得力がありました。私の心に最も染み入ったのは、「障害を負ってよかったとは、間違っても言えないですけど、障害を負った人生も悪くないと思えるまでになりました。」という言葉でした。みんなで、8月のパリパラリンピックで活躍する大江選手を応援しましょう!

【生徒の感想から】

- 今まで「アーチェリー」というスポーツは、左手で弓を持ち、右手で矢を放つものだと思っていたので、今日の講演会で、大江さんが口で矢を引いている姿にとっても驚きました。お話を聴いていると、両腕がない人や、目の見えない人もパラリンピックに出場していることを知りました。「障害者」というワードを聞くと、スポーツとは結びつかないと思っていたけど、私の中での障害者の方の印象が今回の講演会でガラリと変わりました。困難の壁があっても立ち向かった大江さんのように、自分の目標をもち、いろいろなことにチャレンジできる人になりたいと思います。
- 大江さんの話を聴いて一番心に残ったのは、「障がいがあるから助けるのではなく、困っている人を助けて」という言葉です。障がいがあるからといって何もできないわけではない。いろいろな工夫を施して難しいことをやすくする。そういうことをパラアーチェリーをしている方々の映像からも感じる事ができました。私も大きな困難でなくても、小さな身の回りの問題を工夫して解決できる人になりたいと思います。

(裏面に続く)

● 20年以上生きた後でも障害をもつことがあり、今までとは異なった生活を強いられることになり、苦しむ人がいるんだということを知りました。そして、自分だったら絶対に立ち直れないようなどん底からアーチェリーをしてみようと思って、さらに世界3位のトップアスリートになれるのがすごいなと思いました。どんなにつらいことがあっても、強い志をもってたくましく生きていこうと思いました。

● 今日の講演会で、生きているかぎり、何が起こるか分からないんだなと実感しました。だからこそ、今ある日常に感謝し、一日一日を大切にしていきたいと思いました。右半身麻痺になっても、生きることや夢をあきらめなかった大江さんは、本当に強い人だなと思いました。



進路決定に向けて

「3年生の夏休みが勝負」「夏休みを制する者は受験を制する」という言葉

が聞こえてくる時期になりました。今日、期末テストが終わり、気分的にも夏休みが近くなってきたのではないのでしょうか。でも、なんとなく、「これまでのように、遊んでいてはいけないのでは…」と感じていると思います。(その通り!)

夏休みが明け2学期になると、卒業後の進路を決めなければならない時期がすぐやってきます。夏休みから2学期は、気になる高校のオープンスクールに参加し、「どんなことを勉強する高校なのだろうか」「どんな設備があるのだろうか」「自分が目指す職業に就ける高校だろうか」など、さまざまな角度から高校を見てきてほしいと思います。なぜならば、進路を決めるのは、先生や保護者ではなく、自分自身だからです。「保護者は応援団長、先生たちはコーチ」として応援し、アドバイスをしていきます。そして夏休みは、1、2年生の復習をする時間を十分にとってください。授業が始まると、日々の復習や宿題に追われるし、残暑の中での体育会や文化祭の準備で疲れるからです。

ずっと「勉強方法がわからん」と言っている人たち、友だちや先生たちが教えてくれた方法を本気で試しましたか？本気で勉強方法を知りたいと思い、いろいろなアドバイスをもらった中で、「できそうだな」と思ったいろいろな方法を実際に試し、本気で勉強している人たちもいます。まさか、この時期になってもワークやプリントの答えを丸写ししたり、小テスト中にカンニングをしたりしている人はいないと思いますが、自分が落ち着く方法や時間帯にしっかりと勉強時間を確保し、苦手教科に向き合ってほしいと思います。もうやるしかない時期ですよ！

今後の習熟度テスト (予定)

8月26日(月) 10月17日(木) 11月19日(火) 1月7日(火)

保護者の皆様へ

7月17日(水)・18日(木)の三者懇談、お世話になります。今回の流れは、①「受験計画フローチャート」で、入試の流れ(順番や時期)を確認していただき、「私立の専願制度について」「公立特別入試(専願扱い)について」お話をさせていただきます。②個人成績推移票を見て、夏休みの課題を考える ③1学期の生活・提出物状況についてを予定しています。受験に関するご質問や不明な点は、ぜひ早めにお聞かせください。よろしくお願いたします。

